

## 大会宣言

私たち連合大阪は、本日第15回定期大会を開き、「働くことを軸とする安心社会」を大阪においてどう実現させていくかを主眼とする「第23・24年度運動方針」を確立した。

その運動方針の大きな柱は、

1. 「働くこと」に最も価値を置く社会を大阪において実現していくことである。

そのためには、働く意欲を持つ全ての人が「働きがいのある人間らしい仕事(ディーセントワーク)」に就けるよう、様々な社会的障壁を取り除き、地域全体の活性化につなげていかなければならない。

同時にワーク・ライフ・バランスを推進し、男女平等参画社会の実現につなげていく。

2. 大阪における「健全な労使関係」の構築のため、労働組合作りと仲間の拡大を強化していくことである。

「雇用の維持・拡大」「労使の協議」「成果の公正配分」を可能とする健全な労使関係は民主主義社会を構築する上でも、持続可能な経済社会の構築のためにも不可欠なインフラである。連合大阪は総力を結集して、大阪府域に健全な労使関係をより多く構築すべく、組合づくりおよび仲間づくりに取り組む。

3. 人々の「絆」を大切に作る大阪を作るため、社会運動の軸としての役割を果たすことである。

東日本大震災は改めて人々の「絆」そして地域コミュニティの大切さを示した。

私たちは、しっかりと地域に根ざした連合大阪運動を推進するための取り組みを強化するとともに、目的意識を共有する多様な団体、組織、ネットワークと連携しつつ、幅広い連帯を築き、私たちが求める政策実現のために社会運動の軸としての役割を発揮していく。

4. 大阪の民主主義を守るため、毅然とした態度を貫くことである。

今、大阪において、少数意見への配慮や議論の積み重ねをすることのない強権的な政治手法が席卷し、大阪の民主主義、さらには人々の連帯や、働く仲間の信頼関係をもがながしろにされつつある。

こうした状況の中で、私たちは多様な価値観を認め合い、人々が生き活きと暮らしている大阪を守るため毅然とした態度を貫いていく。そのため当面する大阪府知事選挙、大阪市長選挙において私たちが推薦する候補者の必勝に全力を挙げる。

連合大阪は、本日確認された運動課題に全力を挙げるとともに、全国の仲間と連携し、東日本大震災からの復興、再生に向け労働団体としての役割を十分に果たしていく。

すべての働く仲間とともに手を携えて「働くことを軸とする安心社会」の実現へ着実な一歩を踏み出そう。

2011年10月28日  
連合大阪第15回定期大会